

青翔開智高等学校 令和8年度 入試概況

入試結果概況

| | 令和6年度 | | 令和7年度 | | 令和8年度 | |
|------|-------|----|-------|----|-------|----|
| | 総合型 | 一般 | 総合型 | 一般 | 総合型 | 一般 |
| 募集定員 | 20 | | 20 | | 10 | |
| 志願者数 | 6 | 24 | 2 | 9 | 0 | 11 |
| 合格者数 | 5 | 15 | 1 | 6 | 0 | 6 |

※入試結果に青翔開智中学校からの内部進学者は含みません。

入試総評

令和5年度入試より総合型選抜と一般選抜に分けて実施しています。

総合型選抜は、面接検査として「中学校3年間の活動や研究等の実績紹介および本校での探究計画について」というテーマでプレゼンテーションしてもらい、その内容について質疑応答を行なっています。

一般選抜の選考内容は、例年通り学力検査(5教科)及び面接検査(個人面接、書類審査)でした。

いずれの選抜においても、アドミッション・ポリシーに沿った人物であるかどうかを総合的に判断して合否を決定しました。

学力検査 詳細

| 科目／配点 | 国語／50 | 数学／50 | 社会／50 | 英語／50 | 理科／50 | 合計／250 |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 受験者最高点 | 42 | 37 | 42 | 47 | 41 | 194 |
| 受験者最低点 | 18 | 6 | 22 | 19 | 8 | 86 |
| 受験者平均点 5教科250点満点 | 33.2 | 24.5 | 33.1 | 34.3 | 26.6 | 151.7 |
| 合格者平均点 5教科250点満点 | — | — | — | — | — | 179.7 |

※上記は令和8年1月23日(金)実施の一般選抜「学力検査」結果に基づく数値です。

実際の合否は、学力検査・面接検査を合わせた総合判定となります。

国語

大問全5題で例年よりやや難化しましたが、基本を押さえた丁寧な解答を求める点は変わりません。【問題1】は、口語文法や漢字などの知識・論理展開の把握など、基礎的な知識と読解力を問う問題です。【問題2】【問題3】【問題4】はそれぞれ論理的文章・文学的文章・古文の問題です。【問題5】は英語の国際語化に関する複数のデータ資料を読み取り、自分の考えを述べる作文問題です。作文問題の練習をする際は自分で書いてみるだけでなく、身近な先生に添削をしてもらい、アドバイスを参考にしながら記述力を向上するようにしましょう。

数学

構成は全5題で、難度は標準でした。【問題1】は基礎計算に加えて、基本的な図形の問題や確率の問題を問う形となりました。【問題2】【問題3】では基本的な規則性、関数の問題を、【問題4】では図形の問題を出題しました。【問題5】のデータの活用からの出題でしたが、直感で答えるのではなく、与えられた情報をよく考察する必要がありました。日々の学習において言葉を正確に理解する習慣をつけましょう。

社会

大問は全3題構成とし、地理・歴史・公民の全分野から出題しました。基本的な用語を単に暗記するだけではなく、用語・資料・図表・グラフ等を手がかりに背景や理由を考察し、時代の流れを大局的に捉える力を求めました。【問題2】の(6)では、大阪・関西万博を題材に、1970年と2025年の社会を比較しながら記述する問題に加え、それらを踏まえて、今後どのような社会を自ら構想し、築いていくのかについてアイデアを述べる問題を出題しました。社会科で学んだ内容を現在および未来に生かそうとする姿勢をもって日々学習に取り組み、視野を広げていくことが重要です。

英語

全6題構成で、語彙や文法知識に加えて聞く力・読む力・書く力を問う問題を出題しました。【問題4】の問3では英語の授業で意見を交わした様子、【問題5】では発表の準備をする様子を読解する問題を出題しています。【問題6】ではイラストを説明する英作文を作る問題で、自ら状況を理解し、適切な表現で書くことを求めています。普段の授業でも自らの意見を持ち、他者と意見を交わすことで総合的な英語力の向上を目指しましょう。

理科

全6題で構成し、物理・化学・生物・地学の各分野から広く出題しました。問題の多くは、実験の観察およびその考察を題材としたもので、基礎的な知識を問う問題に加え、【問題3】では思考力を要する計算問題、【問題4】では与えられた条件をもとに作図させる問題も出題しました。

また、本校で行う探究活動では、複数の情報の繋がりや規則性を見出し、課題に対する答えを導く機会が数多くあります。そこで本試験では、長文で記載された実験手順を簡易的な図で表現したり、得られた実験結果を表やグラフに変換したりするなど、様々な視点から物事を判断する力を問いました。